



1月号 令和7年1月16日 発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
TEL(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

おおた さだはる

一日一日を大切に生きる

校長 太田 禎治

2週間ほど前に新年を迎え令和7年が始まりました。残念ながらインフルエンザの影響もあり、2学期終業式に引き続き、放送による始業式となりました。教室には新年を迎え、生徒の今年目標が書かれた掲示もありました。

さて、3学期のスタート。いうまでもありませんが、3学期は最後の学期。それぞれの学年のまとめの学期。私たち教職員も含めて、自分の学校生活を、所属するクラスを、学年をそして学校をどうまとめていくのか。考えていかなければなりません。3年生にとっては中学校最後の学期。中学校生活そのものの総まとめです。3学期は本当にあっという間に過ぎます。

使い古された言葉ですが、

いち月はいく (行く) に月はにげる (逃げる) さん月はさる (去る) と言われるほど。

生徒たちには、これまで以上に1日1日を大切に3学期を過ごして欲しいと思います。

では、何を大切にするのか。時間、友だち、家族、勉強、約束、計画……。大切にすることは一人一人違って当然。一人一人が大切にすべきものをしっかりと考えたうえで学校生活を送って欲しいと思います。さらに、他の人が大切にしているものは馬鹿にしたりしないで尊重して欲しいものです。充実した3学期になるよう、寒さはこれからが本番ですが、生徒・保護者・教職員・地域で学校を盛り上げていきましょう。

「天災は忘れた頃にやってくる」……地震を想定した避難訓練を実施しました。

1月10日(金)6校時に避難訓練を実施しました。今回は地震発生後の調理室からの火災発生を想定して行いました。寒さの中、全校生徒が校庭に避難しました。中央階段一か所からの避難でしたがスムーズに避難できたと思います。

避難完了後の校長による指導・講評の際に2011年3月の東日本大震災について触れました。東日本大震災では朝霞でも大きな揺れを感じ、今回とほぼ同じ時刻に実際に校庭に避難した中学校もありました。揺れの大きさに怖さで泣き出してしまう生徒もいたほどです。現在の中学生にとっては、3年生でも2歳にはならないくらいですから、おそらく記憶にはないでしょう。

日本は世界的に見ても地震の多い国です。先日も宮崎県で震度5弱を観測しました。首都直下型地震も近い将来、かなりの確率で発生すると指摘されています。大きな災害に見舞われることなく生活できたらよいのですが、こればかりはどうにもなりません。1月

17日には1995年の阪神淡路大震災から30年を迎えます。災害に備えて一人一人に何ができるのか。是非とも、ご家庭でお子様と話題にさせていただけると幸いです。

大きな災害が起きると、何気ない日常がどれだけ幸せで大切なのか痛感させられます。これからもお子様の安全確保のために学校全体で取り組んでいきます。